オンライン飲み会の断り方！友達・上司・同僚にうまく伝える方法

【イントロ】
最近オンライン飲み会というものが流行しています。
オンライン飲み会とは、フリー百科事典『ウィキペディア（Wikipedia）』によるとオンライン飲み会とはパソコンやスマートフォン、タブレットを活用し、ビデオチャット形式で行われる飲み会、とあります。

なんと飲み会も自粛モードの生活スタイルでオンライン開催！
誘われたけど、本当はオンライン飲み会を断りたいと思っている方もいるはずです。
そこで、うまく断れる、断るときの魔法のフレーズ「参加してみたいとは思っていますが、でも…」を使って、うまい断り方を探してみましょう。



【オンライン飲み会の断わり方！友達にはどう伝える？】
友達からオンライン飲み会のお誘いがありましたが、乗り気ではないので友達に悪いなと思いながらも断わる理由を探しています。

友達とのオンライン飲み会を断るとき、理由はカジュアルに、「そっかー、じゃあ仕方がないね」と思わせるようにするのがうまい断り方です。

友達への断り方
魔法のフレーズ「参加してみたいとは思ってるけど、でも…ので」を使って
・家族が気になって楽しめないので

・自宅でお酒は飲みたくないので
・体調が悪いので

「オンライン飲み会やってみたいんだけど、隣の部屋に家族がいるから、会話の内容を聞かれているようで気になるんだよね。また今度ね。」

友達だからこそ断った後の「また今度ね」とか「日を改めてランチしよう」などのフォローがあると友達関係は良好に保たれます。

【オンライン飲み会の断わり方！上司にはどう伝える？】
今度は上司からお誘いがありましたΣ(￣ロ￣lll)
会社関係だと業務で使うグループLINEでお誘いが送られてくることもありますよね。



調べてみたらお酒は好きだけど、会社関係のオンライン飲み会はどちらかといえば参加したくない、という人が多数でした。参加したくない理由の大半は
・帰宅後、休日にまで会社の人と顔を合わせたくない
・いつ終わるのか、終わりの時間が決まらない
・すっぴんや部屋着でもスタンプで隠せる、とアプリ機能が便利すぎる
などがあげられます。

上司への断り方
断る時の魔法のフレーズ「参加してみたいとは思っていますが、でも…ので」を使って
・風邪をひいて声が出ないので
・自宅のネット環境が悪いので
・仕事に影響が出るといけないので
上のような断り方だと相手を不快にさせることがなく断ることができます。
参加したくないという思いをサラッと伝えることができますよ。

「お誘いありがとうございます。参加してみたいとは思っていますが、風邪をひいてしまって、声が出ないのでオンライン飲み会はお断りします。」

メールの文面だけで読むとビジネスメールのようですが、柔らかく断っています。

【オンライン飲み会の断わり方！同僚にはどう伝える？】



次に誘われたのは同僚です。会社関係といっても同僚なら上司に比べたら断りやすい反面、今後いっさい誘われなくなることも考えられます。
同僚にはラフな言い訳を用意しておきましょう。

同僚への断り方
断る時の魔法のフレーズ「参加してみたいとは思ってるけど、でも…ので」を使って
・太っちゃったから、お酒を控えているので
・家族だんらんを大切にしたいので
・疲れ気味なので

「参加してみたいとは思ってるけど、この頃運動不足で太っちゃったんだ。お酒は控えているからオンライン飲み会はやめておくね。」
言われてみれば、自分も飲み会が続いていて運動不足だなと共感してもらえるし、納得できる断り方ですね。

【オンライン飲み会に参加をしたけど途中で抜ける場合は？】



飲み会に参加したけどやっぱりつまらない。そろそろ抜けたいな。リアル飲み会では終電が…と言い訳があったのですがオンライン飲み会ならその言い訳は使えません。

あらかじめ「１時間経ったら失礼します」や「お酒を一杯飲み終わったら失礼します」と言っておくのもスマートな抜け方です。

途中退席するときは以下のように断るのがおすすめです。
・久しぶりに飲んで、酔っぱらってきちゃったので
・電波が悪くなってきたので　　失礼します
・休みの日にしかできない家事が残っているので
確かに、相手の人も「あぁそうか、仕方がない」としか言いようがないですよね。

【まとめ】
時間、場所を問わず開催できるオンライン飲み会は便利な反面、断る理由が見つからない、といった対応に苦労する面もあることがわかりました。

断るときのポイント
・相手を傷つけないように断る
・体調不良など、みんなが納得できる理由で断る
・やんわりと「仕方がないな」と思わせ、断る

断る時に誰に対してでも使える魔法のフレーズ「参加してみたいとは思っていますが、でも…ので」を使って、うまい断り方を実践してみてください。

【提案】
定番ですが、断った後「また今度よろしくおねがいします。」や「昨日は参加できなくて残念でした。どうでしたか？」など質問をすることをおすすめします。

どんな状況にあっても円滑な人間関係を壊さないように断ることを心掛けましょう。